

新聞の切り抜き記事から

研究員 鶴岡 美宏



当センターの新聞切り抜きファイルから主な記事を抜粋して紹介します。

□第28分冊（2015年12月4日～2016年2月9日）

千葉県議会一般質問 答弁要旨

民主党の守屋貴子議員は県が策定中の「県子どもの貧困対策推進計画」に関する施策の検討状況を質問した。中岡康福祉部長は、貧困家庭に対する支援事業や窓口を紹介する「ガイドブック」を作成する方針を示した。（千葉日報2/4）

千葉県議会一般質問 答弁要旨

石井宏子議員（民主党）は、来秋の第3回「ちばアクアラインマラソン」で正式種目になる車いすハーフマラソンについて質問した。

内藤教育長は「種目新設を機に、大会の広報活動を通じ、車いすマラソン全般に関するイベントの実施も検討していく」と答弁した。

（千葉日報12/5）

指定廃棄物処分場の調査拒否 千葉市長「これが最終回答」

千葉市の熊谷市長が12月14日、放射性物質を含む指定廃棄物の処分場建設問題を巡り、環境省が候補地としている東電千葉火力発電所での詳細調査の受け入れを拒否する考えを改めて伝えた。同省は県内1か所に処分場を建設する方針を崩さず、市との溝は深い。（日経2/15）

2015年10大ニュース 1位が五輪、幕張開催

千葉県と千葉市は24日、県政と市政の今年の10

大ニュースを発表した。1位はいずれも、2020年東京五輪・パラリンピックの幕張メッセでの開催決定だった。（毎日12/25）

回顧2015ちば

1. 県議選
2. 注目集めた幕張新都心
2. 東京五輪パラ、県内開催
4. 成田空港第3滑走路
5. くい打ちデータ改ざん

（千葉日報12/27～12/31）

検証ちば 平成の大合併

上 総論

下 国立社会保障・人口問題研究所、森田朗所長に聞く

- 1～3 匝瑳市、4～6 鴨川市、7～9 香取市、10～12 山武市、13～15 野田市、16～18 成田市、19～21 いすみ市、22～24 旭市、25～27 南房総市、28～30 印西市、31～33 柏市、34～36 横芝光町、37 鋸南町、38～39 長生郡市、40 大網白里市、41 酒々井町
- 42 国立社会保障・人口問題研究所、森田朗所長に聞く
- 43～44 元千葉縣市町村課長、猿田寿男勝浦市長に聞く

（千葉日報（1/3～2/24））

2016年を考える 国と地方

ひとつの国家は、もともと住民が暮らす地域の共同体が数多く集まり形づくられている。では、国と地方はどんな関係であるべきだろうか。……

(毎日1/9、社説)

改ざん公文書 八千代市長、指示メール

八千代市が公文書を改ざんして市民に開示したとされる問題で、秋葉就一市長が市職員に対し、問題の公文書の修正を具体的に指示するメールを送っていたことが14日、関係者への取材で分かった。

(読売1/15)

千葉市が五輪・パラ推進室 4年後へ準備本格化

2020年東京五輪・パラリンピックの一部競技が千葉市の幕張メッセで実施されることを受け、同市が新年度、「オリンピック・パラリンピック推進室」を新設することが2月2日同市関係者への取材で分かった。

(読売2/3)

国勢調査 千葉県人口 最多622万4,027人

県が発表した2015年国勢調査（10月1日現在）の速報値で、県人口は前回10年調査から7,738人増の622万4,027人だった。1920年（大正9年）から行われている国勢調査で最多を更新した一方、増加率は0.12%と最低だった。

(読売2/4)

千葉県16年度一般会計予算案

県は2月4日、一般会計総額が1兆7,139億円の2016年度当初予算案を発表した。県政運営の3か年計画として策定した「新輝け！ちば元気プラン」の総仕上げの年と位置付けており、予算規模は過去最大。

(千葉日報2/5)

医学部新設 千葉県の補助35億円 成田市は45億円負担

県が2月4日発表した新年度当初予算には、国家戦略特区の成田市に新設が認められた県内2番目の医学部への補助金として3年間で計35億円が盛り込まれた。

(千葉日報2/5)

指定廃棄物解除ルール案 環境省、週明けに県説明

東京電力福島第一原子力発電所の事故で発生した放射性物質を含む指定廃棄物の指定解除ルール案について、環境省が千葉県への説明を週明けに行うことが2月5日、分かった。環境省は県内の「地元の意向」を重視し、茨城県で認めた「分散保管」を適用しない方針だ。

(読売2/6)

<以下次号へ>